マイウェイ

No.56
2005

葉山わがまちの物語

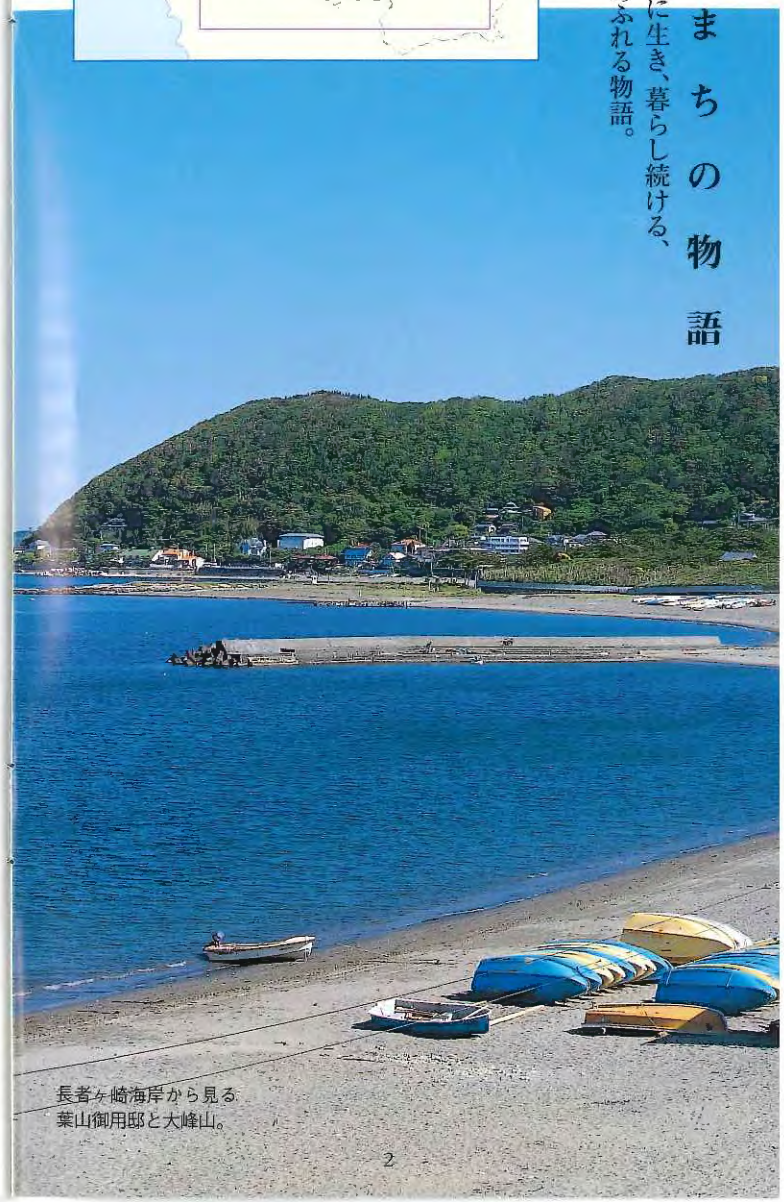
協力 NPO法人 葉山まちづくり協会
写真 桜井ただひさ・桜井ロクスケ

財団法人はまぎん産業文化振興財団

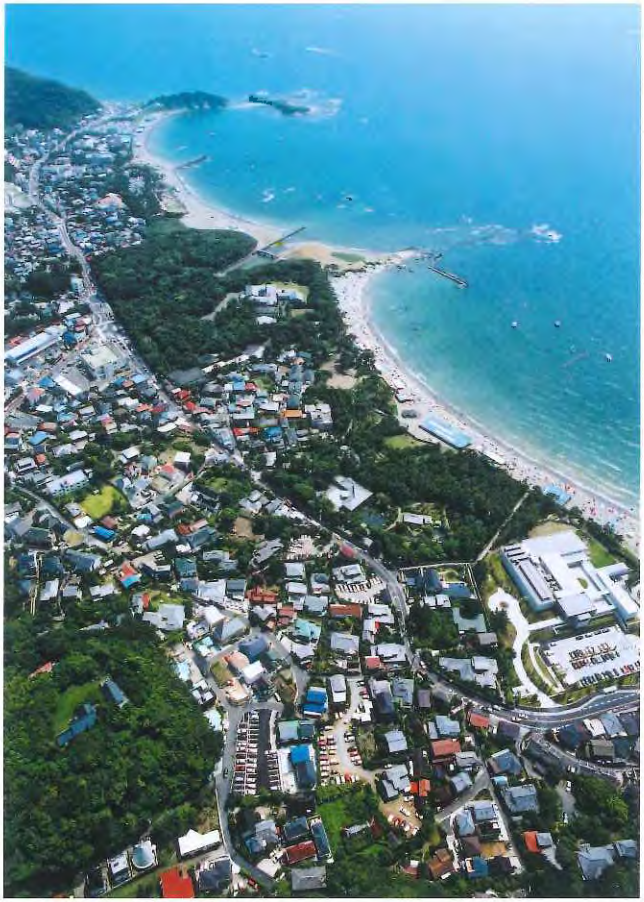
平成17年6月発行
●発行人 平澤貞昭
●編集人 清水照雄
●発行 財団法人はまぎん産業文化振興財団〒220-8611横浜市西区みなとみらい3-1-1 ☎045-225-2171(直通)
㈱西北社 大日本印刷㈱

葉山わがまちの物語

葉山をこよなく愛し、葉山に生き、暮らし続ける、そんな人たちの、熱い想いあふれる物語。



長者ヶ崎海岸から見る葉山御用邸と大峰山。



御用邸が要になって広がる葉山町。広大な緑と青い海。豊かな自然に満ちた美しい町だ。（この項の写真提供／神奈川新聞社・葉山町）

御用邸の誕生と葉山のまち

矢嶋道文
関東学院大学文学部教授

葉山の御用邸は明治二十七（一八九四）年に誕生した。御用邸造営地の葉山には、すでに明治二十四（一八九一）年完成の有栖川宮別邸があり、マルチーノ（元イタリア駐日公使）やベルツ（元東京帝国大学医学部教授）の紹介による保養地としての葉山が、広く皇室にも愛されてい

表紙写真／仙元山から見た葉山町と江の島、富士山
裏表紙写真／かながわの景勝50選 森戸の夕照

大正15年12月に改築された旧御用邸。昭和に元号が変わる直前のことだった。

葉山が保養地として注目されるきっかけを作ったドイツ人医師、エルウィン・ベルツ博士（上）とイタリア公使、レナート・マルチーノ氏。

昭和56（1981）年の夕刻、御用邸にいらした昭和天皇と香淳皇后。

たことを物語っている。

宮内庁書陵部所蔵資料である「皇室経済会議録」をみると、明治二十六（一八九三）年五月末の皇室会議では、臨時費のもと葉山御用邸の造営費が可決され、六月には明治天皇の裁可（勅裁）を得るに至っている。御用邸の完成は翌年の一月であるから、造営には総力があげられたものと思われる。

葉山御用邸の造営予定地は、「葉山村大字一色字打鯖」であり、ここには十四軒の里人が住んでいた。この点について、宮内庁書陵部所蔵資料「内務寮・土地建物第二十号（明治二十七年）」には、当時の打鯖の様子が詳しく調査されている。

右／平成6（1994）年、しおさい公園での皇太子殿下と雅子様。左／化学の実験をなさる昭和天皇と皇太子殿下（現在の天皇陛下）。

平成16（2004）年、一色海岸の小磯で、地元の人びとに微笑まれる天皇陛下と皇后様。

それによると、立ち木の総数は四百七十五本、井戸は七カ所、総反歩数は二町一反二畝一歩（約六千坪）、半農半漁の穏かな里であった。この間、里人への移転料など、お買い上げの手続きについては、丁寧な手順を踏んでなされている。

明治二十七年、十四軒の里人の協力によりめでたく誕生した葉山御用邸は、その後、大正の大震災（崩壊・再建）、昭和の火災（新邸造営）を経て、今日なお、葉山町民に永久のエネルギーを与え続けている。

やじま・みちふみ●葉山郷土史研究会「郷土誌葉山」編集長。なお、本記事の詳細については、現在発売中の「郷土誌葉山」創刊第二号（問葉山まちづくり協会☎046・876・0421）でご覧頂けます。

◉関水倉吉さんのアルバムから◉
上／昭和25年頃の真名瀬漁港。
左／同じ頃の鐘摺港。まだ自然のままの海岸が残っている。

右／昭和37年の一色海岸。テントを張って長々と暮らす若者たちがたくさんいた。左／一色海岸脇の道。のどかな場所だった。

御用邸はそのままに町は変わりました。

関水倉吉さん
関水トケイ店店主

昭和初期の頃の一色周辺は、まだ家が少なく、寂しいところでした。街灯も暗くならないとつかなかったので、常に心細くしていたのを覚えています。

御用邸は、生まれた時からありました。そばを通るときは必ず脱帽し、陛下がお出でになるときにはお出迎えをします。車が通る度に、ひたすら頭を下げます。子供だったので、少しの間でもじっとしてるのは辛かったですね。今でも、当時の懐かしい葉山が思い返されます。

森戸海岸。湾になっているため波も穏やかで、静かな海水浴場としてリピーターが多い。

海のプロムナード

葉山の海水浴場

左／御用邸をはさんで広がる一色・大浜海水浴場。美しい砂浜が見られる。
右／「かながわの景勝50選」にも選ばれるほど眺めのいい長者ヶ崎海岸。

美しさと安全が私たちの海の魅力です

葉山森戸海水浴場協同組合
のみなさん

湘南海岸の中で葉山の海水浴場は、駅がないこともあってか、一見さんが少なく、長年のお客さんが多いのが特徴です。そのため、なおさら各方面から、景観を大切にしようという空気がありますね。

私どもが海の家を運営する森戸海岸海水浴場には、景観を損なわないよう、ゴミ箱や灰皿は置きませんし、組合員たちが早朝から清掃をして、環境の美化や整備に努めています。ライフセーバーとも協力し、安全にも心掛けています。

鐙摺（あぶずり）～葉山港

療養地からリゾートへ 文学作品が変えた葉山

鈴木雅子さん
NPO法人葉山まちづくり協会
常務理事、「葉山文学散歩」編集

葉山は、温暖な気候で別荘地となり、療養の地でもありました。ところが三島由紀夫さんの『禁色』や石原慎太郎さんの『太陽の季節』が発表され、海とヨットの元気で明るいイメージに一転しました。葉山マリーナや葉山港は、そうした葉山が、端的に表れている場所。湘南ビーチFMのジャズライブや展覧会など、エンターテインメントも楽しめますよ。

毎週日曜の朝、葉山港では朝市が開催され、新鮮食材や料理が並ぶ。

上／ヨットが並ぶ葉山マリーナ。葉山港の入り口に、「ヨット発祥の地」の碑がある。下／葉山マリーナへはヨット以外に、飲食店目当てのお客も多い。

欲張りを懲らしめる、不思議な言い伝えが残る「七桶の碑」。

不便な町だからこそ温かい人たちがいる

柳　晴康さん
永楽家

葉山は駅がないし、起伏の急な坂も多い、不便な場所なんです。でも、それがいいのだと思います。せかせかしても仕方ないので、のんびりと。そんな暮らしだから、この町の人は温かい人柄を持っているのだと思います。毎日、店に立つと、さまざまな人たちが立ち寄ってくれますが、年代を問わず、どの方も穏やかな人ばかりですね。

明治創業の老舗和菓子店。☎046-875-0315

上／治承4（1180）年、源頼朝に加勢した三浦義澄が旗を立てて気勢を上げたという旗立山。鐙摺城跡ともいわれる。下／須賀神社

森戸（もりと）神社～真名瀬（しんなせ）漁港

大小混じった漁師船が並ぶ。仕立て船や乗り合い船も出る。

古来から葉山の総鎮守として祀（まつ）られてきた森戸神社。県の重要文化財でもある。

右上／かながわの橋100選の「みそぎ橋」。右下／真名瀬の潮だまり。左上／町の天然記念物の飛柏槇（ひびゃくしん）。左下／葉山を代表する風景の名島（なじま）と葉山灯台。

夕陽が美しく映える真名瀬漁港

三橋直吉さん（写真中央）
葉山町漁業協同組合理事

葉山は、もともと漁師まちなんですよ。ここは、その中でも一番の漁港。年によって違いますが、ワカメ、ひじき、白子（しらす）、アジ、イカ…、たいがいのものは穫（と）れますね。味の方もいいですよ。

それ以上にこの漁港で自慢したいのは、実は景色です。天気がいい時に見える富士山と夕陽。特に真っ赤に美しく映える海は素晴らしく、眺めていると本当に晴れ晴れした気分になりますよ。（写真の左は新倉昭さん、右は矢島正男さん）。

魅力的な人々が葉山を彩る

山本三津子さん　海狼（かいろう）専務

葉山町に暮らす人はみな、自分のライフスタイルを持っていますね。四季を喜び、日々を楽しむ。決して便利な町ではないから、自らが工夫して快適に暮らす。そうした人々が住むから、町外の人が訪ねてみたいと思ってくれるんでしょうね。

葉山を代表する中国料理店。☎046-875-0015

御用邸と一色海岸。昭和天皇の海洋生物研究の根拠地でもあった。

自然の下だからこそ子供は健康に育つ

海野義明さん
オーシャンファミリー代表

葉山は自然、特に海が豊かなのがいいですね。私どもはふだん、主に子供たちを対象とした「海の体験学習」を行い、海を通して、人と人とのふれ合いや学習能力などの向上を図っています。

参加してくれた子供たちを見ていて、面白いのは、彼らが、どんどん自然とのつきあい方を身につけていくことです。安全な行動のし方、生き物の見つけ方、波の読み方、など。やがて彼らがどのように成長していくか、とても楽しみです。

文豪らが集った手打ちのおそば屋

浅野晴道さん
如雪庵(にょせつあん)一色店主

☎046-875-7985

里見弴(さとみとん)、堀口大學(ほりぐちだいがく)、小林秀雄(こばやしひでお)の先生方は、よくいらっしゃいましたね。皆さんお酒が大好きで。あれは二十年前でしたか、小林さんと里見さんと当時の田中町長がご一緒で。町長がウイスキーを水割りで飲んでいたら、小林さんが怒るんですよ、水で割るなって。で、別の機会に里見さんが「梅原龍三郎さんも水で割ってたよ」って言ったら小林さん「あいつは番外だ」なんて黙っちゃって。そんな笑い話のような、のどかな日々でしたね。

右上／葉山の貝類、魚類など700種の標本が並ぶ「葉山しおさい博物館」。
右下／芝生が美しい「県立葉山公園」。
左上／四季折々の風情を見せる旧御用邸付属邸跡地の「葉山しおさい公園」。
左下／県立近代美術館葉山館。

長者ヶ崎は、眼下に広がる景色が葉山有数のビュースポットとして名高い。

葉山お店図鑑

美しい自然同様に、本格的なレストランから気軽に寄れるカフェまで、一軒一軒が個性にきらめく、葉山のお店。

友琉館（うりゅうかん）【本格焼肉レストラン】

三浦葉山牛など厳選された素材を供して、開店以来二十四年にわたり高い支持を受ける本格焼肉レストラン。ご主人は年に数度、渡韓し、本場の材料や味を仕込む。味覚への飽くなき探究心が、人気の秘密だ。

葉山牛特選カルビ(2,600円)
ほかの人気料理。

住所■葉山町長柄27-2
（地図Ｐ9）
電話■046-875-8535
長柄交差点の近くに位置する。温かみのある雰囲気で家族連れのお客さまが多い。

河村輝夫さん

美しい自然を見て、良い気分のまま立ち寄れる、気の利いた飲食店が多いことも、葉山の魅力だと思います。外の方をあらゆる手立てでもてなす、葉山人の気質がここに表れていますね。

大繁（だいしげ）【寿司】

地元の食通から愛される寿司店。地物が中心の江戸前寿司はもちろん、素材を生かし絶妙なタレで味付けした鯖寿司、穴子寿司は、お土産としても人気が高い。

住所■葉山町堀内900（地図Ｐ9）
電話■046-875-6888
上／にぎり（1、890円）。下／照明が明るく開放的な雰囲気の店内。

雅娘（アラン）【韓国料理】

葉山牛ほかの定番メニュー焼肉から、日本では未紹介の料理までが揃った韓国料理店。バラエティに富む料理は、十一種のチヂミや十種のチゲ鍋など、その数百十品。

住所■葉山町堀内746-1（地図Ｐ11）
電話■046-875-2959
上／チヂミ11品、鍋物などを含むコース（3、000円）。下／モダンな店内。

ボンジュール【パン、レストラン】

毎日、焼き上がる時間になると、お客さんが列をなすベーカリー。小麦本来の味が引き立ち、モチモチの食感の食パン（葉山ブレッド）やデニッシュペストリーが人気。

住所■葉山町堀内745-1（地図Ｐ11）
電話■046-875-0855
上／葉山ブレッド（2斤・630円）ほか。下／レストランを併設。

新田（しんた）ちか【寿司・日本料理】

地元の新鮮な魚をネタにした寿司、天ぷら、松花堂弁当が評判のお店。中でも一本を丸々さばいた穴子丼は人気で、お弁当の仕出しも好評。

住所■葉山町堀内1735-52（地図Ｐ11）
電話■046-875-0555
上／穴子丼（2、520円）。
下／葉山小学校の向かいにある。

サンルイ島【フランス菓子】

地元はもちろん、県外からもお客さまが来るフランス菓子のお店。丁寧に作り上げられた美しいケーキの数々は、まるで宝石のよう。ケーキやクロワッサンなどを味わえる、カフェコーナーがある。

フロマージュキュイ（420円）他みな鮮やかな色合い。

住所■葉山町一色685-4
（地図Ｐ19）
電話■046-875-8715
県道27号線に面する涼しげな色合いの外観の店舗。自分だけのティータイムをゆっくりと過ごしたい。

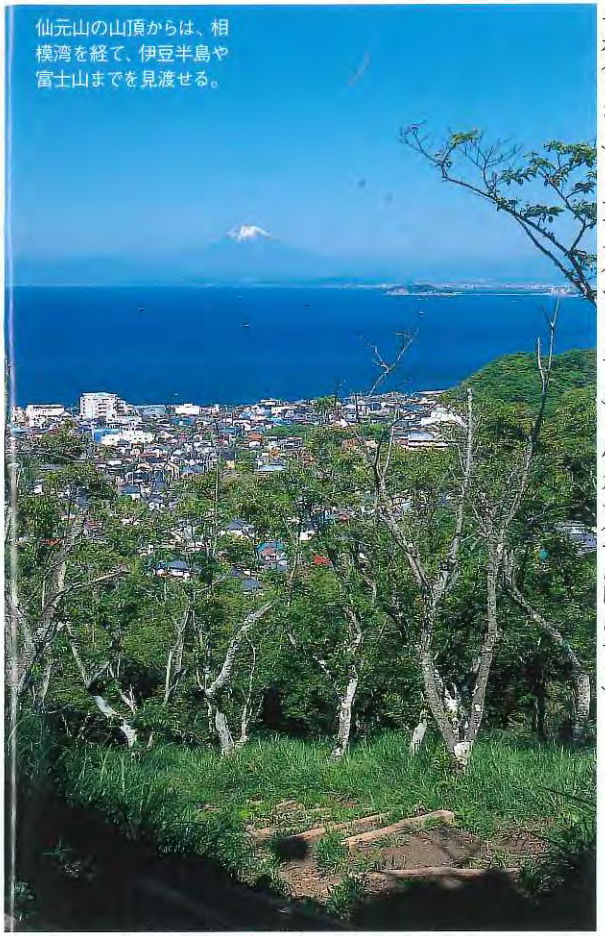
遠藤正俊さん

葉山の魅力は色とりどりの自然でしょうね。真っ青な海と緑の山、そして赤い夕陽。どれもが美しい。私は自転車に乗ったり、シュノーケリングをしたりと、海に山に自然を満喫しています。

緑と歴史のウオーク

四季の自然と歴史の影を感じ行く緑の散歩道。

長柄（ながえ）～二子山（ふたごやま）～仙元山（せんげんやま）



仙元山の山頂からは、相模湾を経て、伊豆半島や富士山までを見渡せる。

一年中飽きることない移り変わる山道

伊東進さん
葉山・山楽会会長

葉山の自然は奥が深く変化に富み、いくつものハイキングコースがあります。たとえば南郷であれば、長柄交差点から南郷公園に向かい、森戸川林道終点へ向かうコース。さまざまな花木や杉並木が見られるほか、森戸川の渓流に沿った散歩道には、野鳥からホタル、小魚などの生き物が見られます。オゾンにあふれた森林、二子山からの素晴らしい眺望、刻々と変化する山の風情……。一年中、飽きることなく楽しめるでしょう。

南郷上ノ山公園。スポーツ施設と自然の散歩道を兼ね備えた県立公園。

右上／三浦一族の有力な家人、長江太郎義景の菩提所とされる福厳寺。右下／源義家につき後三年の役（1083～87年）に従軍した鎌倉権五郎景政をまつったとされる御霊神社。左上／長江太郎義景の墓のある義景社。左下／真言宗史上の名僧、長覚の開基とされる仙光院。

上山口（かみやまぐち）～木古庭（きこば）

上／三浦半島では今や珍しい棚田（千枚田）。右下／浄土宗寺院で、本堂内陣は室町期の禅宗様式と伝えられる新善光寺。左下／武将、猪俣小平六・岡部六弥太の墓。

美しい棚田と史跡に葉山の豊かさを知る。

片山義雄さん
葉山郷土史研究会会員

葉山の中で、昔ながらの棚田や史跡をいまなお残しているのが、上山口から木古庭に至る地域です。杉山神社の南には美しい棚田が開けていますし、横須賀の子安に抜ける通りにも、見事な里山が広がっています。ここ数年、両陛下がこちらの山に来られることが多く、たまにお見かけします。また上山口付近には、道路脇に見られる庚申塔や地蔵をはじめ、現世の災いから身を守ろうと人びとが拝んできた祠やお堂が、数多くあります。

学術研究や人材育成を図る、国際交流の拠点として建つ湘南国際村センター。

右／鎌倉時代、畠山重忠が衣笠城を攻めた際、守り本尊の不動明王をまつった木古庭不動尊。左／古くから信仰される不動の滝。

海中から神像を拾った里人が、杉の葉を集めて仮の社をつくり、まつったのが始まりとされる杉山神社。

葉山まちづくり協会の人びと

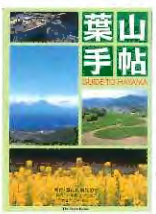
葉山を愛する人たちとよい町づくりを目指す

森田昌明さん
NPO法人葉山まちづくり協会
代表理事

豊かな自然に囲まれた葉山ですが、自然以外にも、大切な資源がたくさんあります。文化財などの歴史的な資源、そして、祭りをはじめ様々な行事や古典芸能、風習などの生活資源です。それらを掘り起こし、地域の人たちと大切にしていこうというのが、私たちの葉山まちづくり協会です。歴史研究や自然保護など、町にはさまざまな活動を行っている団体が多数あり、各々の活動を支えていくことで、よりよい町づくりを目指しています。細かな活動はホームページで報告しています。

◉NPO法人葉山まちづくり協会
○葉山町堀内1874葉山町立図書館2階「葉山まちづくり館」
○☎046-876-0421
http://www.hayama-kuretake.net

ワカメのオーナー制はひと口3千円。県外からの参加者もいる。



「葉山手帖」(発行・葉山町観光協会　定価七百円)は、葉山の詳しい公式ガイドブックです。

ワカメのオーナー制

ワカメを通じて自然と触れ合う

高野博さん
葉山町漁業協同組合組合員

一昨年の冬から、ワカメのオーナー制を始めています。十一月に、希望者にワカメの種を付けてもらい、こちらの管理のもと翌年二月に収穫。今年は百七十人ものオーナーが集まり、大盛況でした。ワカメを介した海とのふれ合いは、皆さん、新鮮だったようです。

オーナーとともに収穫ワカメを真水で洗い、煮る。

希望者は、毎年9月ころに新聞紙上で募集します。お問い合わせは、葉山町漁業協同組合まで。
☎046-875-9509

ホタル観察

葉山は自然のホタルが見られる町

加々尾泰郎さん
葉山ほたるの会代表

三浦半島の中で、葉山は、ホタルが自然発生する特別な地域です。私たちは森戸川、猪俣川、下山川の各流域で、定期的な観察と、ホタルが生息するための良好な自然の整備に取り組んでいます。

上／観察会は毎週土曜日に行われる。
下／葉山に生息するヘイケボタル。

興味がある方は、下記まで。
葉山町堀内1412
☎046-875-5433
e-mail　yasuro.kagao@jcom.home.ne.jp

古墳研究

葉山の歴史を書き換えた古墳の発見と研究

東家洋之助さん
かながわ考古学同好会副会長

平成十一年の春に、逗子市と葉山町の境にある丘陵に、前方後円墳を見つけ、また古墳である証拠としてはにわも発見しました。その後、田村良照さんが2号墳を発見。古墳を造るほどの巨大勢力はいなかったとされる三浦半島の歴史に、一石を投じました。

平成11年撮影の1号墳の頂き部分。ここからはにわが多数発見された。

興味がある方は、下記まで。
葉山町堀内2135
葉山町教育委員会生涯学習課
☎046-876-1111（代表）

山里研究

葉山の豊かな山里を伝統とともに守る

角田輝男さん
山里会会長

上山口の棚田の美しい景観を残そうと、農家の米づくりを学びながら、農作業のお手伝いをしています。畑作業や夏みかんの収穫、竹林管理なども行っています。こうした農作業が、山里の恵みと風景を育んでいます。

棚田の田植え。狭い田は、機械でなく手で植えていく。

希望者は、下記まで。
葉山町堀内2135
葉山町役場産業振興課
☎046-876-1111（代表）

マイウェイプラザ

ホール

〈はまぎんホール　ヴィアマーレからのお知らせ〉

ホール利用のご案内

ヴィアマーレは、イタリア語で「船便」の意味。広く世界へつらなる文化、芸術をお届けするホールでありたいという願いをこめ、名づけました。みなとみらいに建つ横浜銀行本店ビル一階にあり、ジャンルを問わず、コンサート、講演会などにご利用いただけます。

施設概要

- **ホール**　客席数517席（前舞台使用時490席）
- **使用時間**　9時～22時まで
- **使用料金**　基本料金、技術者料金、付帯設備使用料の合計。
  基本料金は、1日を3区分に設定、平日1区分6万3千円～。
- **休館日**　月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始、5月3日～5日
- **お問い合わせ・お申し込み先**　ヴィアマーレホール事務室
  （銀行営業日の10時～16時）☎045（225）2173
  横浜市西区みなとみらい3－1－1横浜銀行本店1階

はまぎんホール　ヴィアマーレ

http://www.yokohama-viamare.or.jp/

※「マイウェイ」へのご意見・ご要望は
info@yokohama-viamare.or.jp
へお気軽にお寄せください。

年金

〈はまぎん〉からのお知らせ

「年金」電話相談サービス（無料）のご案内

年金制度や年金請求の手続き方法など、年金に関する疑問に何でもお答えいたします。
また、年金に関連した雇用保険制度、健康保険制度についてのご相談や「年金教室」のお申し込みも承ります。
お気軽にお電話ください。

- **〈はまぎん〉年金デスク**
  フリーダイヤル 0120（334）089
- **相談受付日**　銀行窓口営業日
- **相談受付時間**　9時～17時

編集後記

葉山の町は、面積が約十七平方キロ、人口は約三万二千人と、県内でのシェアーは、いずれも一パーセントにも満たない小さな町ですが、知名度の高さでは、県内有数の地に属するに違いありません。その背景には、この町が、老若男女を問わず、多くの方々から、海・山に、食に、史跡にと、暮らしの中において魅力溢れる地として愛されていることにあるのではないでしょうか。

今回のマイウェイは、その魅力ある町をご紹介する「葉山わがまちの物語」を刊行いたしました。この中では、町の随所に存する自然や史跡などをご紹介するとともに、この地に暮らし、海や山の自然保護に、史跡や文化遺産の保存に、また、食文化の普及にと、魅力ある町づくりにご尽力いただいております方々に、愛する「わがまち」への思いを一言語っていただきました。

そのお言葉の中には、貴重な自然や文化を大切にすること、そして、かけがえのない暮らしを守ることへの強い思いが切に感じられました。このことはまた、この町で暮らす人々の共通の願いであるに違いありません。

最後になりましたが、取材にご協力をしていただいた「NPO法人葉山まちづくり協会」をはじめ、関係者の皆さまに厚く御礼を申し上げます。

財団法人はまぎん産業文化振興財団
事務局長　清水照雄

●次号予告（9月下旬刊行）
「かながわ老舗グリル物語」（仮）